

Jupiter

ジュピター

2022
春号
VOL.46

岡山県精神科医療センター理念 | 人としての尊厳を第一に安心・安全の医療をめざします。

Welcome
New Employees!!



当センターのシンボルマークは
安心・安全の医療を表しています

ノアの方舟で主人公ノアがハトを放ち、オリブの葉をくわえて船に戻ってきたところを表しています。安住の地を求めて、安心・安全の医療を追求し進んでいくことをシンボライズしています。

CONTENTS

2 新入職員紹介
みなさん、はじめまして

4 巣立ちの会
1年間の振り返り

4 看護部事例研究発表会

5 HYOOGO便り
Dr. Ikuta Shinkawa & Dr. Kazunori Bessho

6 人薬ーひとぐすりー
第四回 相談支援センター鹿田
精神科認定看護師 /
相談支援専門員・中井志穂

7 地域連携室だより
刑事分野における
司法と医療福祉を繋ぐ
「岡山モデル」のご案内

8 EVENT REPORT
・東古松サニクト診療所 デイケア
・岡山県精神科医療センター デイケア

Introduce a Newcomer みなさん、はじめまして!!

今年も新入職員がやってきました。新しい風が入り、爽やかさを感じます。もう顔と名前は覚えていただけましたか? 今後ともよろしくお願いたします。

Ayano Kanbara
神原 綾乃
1 看護師
2 小説・漫画を読むこと、日本舞踊
3 コーヒーゼリー、パスタ
4 虫、箸さ、ナッツ類
5 米津玄師



Tomomi Shinohara
篠原 友美
1 看護師
2 登山、韓国語、パン作り
3 フルーツ
4 バクチャー
5 BTS



Keiko Masatomi
正富 恵子
1 看護師
2 音楽鑑賞
3 チョコレート
4 虫
5 ONE OK ROCK、THE ORAL CIGARETTES



Kimiko Hakka
八家 公代
1 看護師
2 映画鑑賞
3 信玄餅
4 煮物
5 ZARD



Moa Mizuta
水田 萌
1 看護師
2 ギター(練習しています)
3 ラーメン
4 虫
5 クリープハイブ



Aika Hamano
濱野 愛佳
1 看護師
2 ドライブ、御朱印集め
3 トマト、牛肉、スイーツ全般
4 寝不足、雷
5 星野源、家入レオ



Masumi Sugahara
菅原 真寿美
1 看護師
2 キャンプ、ツーリング(練習中)
3 カフェラテ、ネギトロ、韓国料理、うどん
4 虫、爬虫類、算数、数字
5 Mr.Children、平井大



Sayaka Nogami
野上 紗耶加
1 看護師
2 多肉植物を育てる
3 いちご
4 霊的なもの
5 MACO



Haruka Saeki
佐伯 春佳
1 作業療法士
2 趣味: サウナ、特技: バドミントン(大学4年間部に所属していました!)
3 プリン、ピザ(マルゲリータ)、焼き鳥
4 山椒、虫
5 嵐、Stray Kids、SPYAIR



Yuria Hirano
平野 裕里江
1 看護師
2 ゲームをすること、一人カラオケに行くこと
3 トマト、ラーメン、チョコレート
4 虫、にんじん、和菓子
5 邦ロックバンド(好きなアーティストが多くて選びきれません...)



Chika Ocho
大重 智加
1 看護師
2 味噌作り、早起き
3 豆
4 パナナ、発泡スチロール
5 ミシマ社



Emi Kurihara
栗原 絵美
1 看護師
2 園芸
3 白米
4 虫
5 特になし



Mayuko Ishikawa
石川 真悠子
1 医師
2 映画鑑賞
3 フルーツタルト
4 虫
5 aiko



Shinichiro Ehara
江原 慎一郎
1 医師
2 サッカー、フットサル、スノーボード、釣り
3 鍋料理、なまこ酢
4 バクチャー、セロリ
5 渡辺謙、阿部サダヲ、土屋アンナ



Sumari Tsuchiya
土屋 朱万理
1 医師
2 ダンス
3 おもち
4 車の運転
5 今はBLACKPINK



質問項目

- 1 職種
- 2 趣味・特技
- 3 好きな食べ物
- 4 苦手なもの
- 5 好きなアーティスト

Go Kato
加藤 剛
1 医師
2 食べることに
3 カレー
4 わけぎのぬた
5 MOROHA



Wataru Kubo
窪 渉
1 医師
2 ドライブ
3 焼肉(豚トロ)
4 虫
5 その時流行しているアーティスト



Jun Mukai
向井 潤
1 医師
2 キャンプ
3 牡蠣
4 ビーターン
5 サザンオールスターズ



Yasuo Okuda
奥田 康夫
1 医師
2 旅行、スノーボード
3 ラーメン
4 ふきのとう
5 藤井風



Akira Noma
野間 礼
1 看護師
2 バスケットボール
3 ラーメン
4 セロリ
5 Mr.Children、秦基博



Haruka Takahara
高原 晴香
1 看護師
2 読書、バスケットボール
3 オムライス
4 ハト
5 阿部真央、マカロニえんぴつ



Reiko Oshima
大島 礼子
1 看護師
2 エレクトーン、キャラ弁作り
3 辛い食べ物、エビ
4 虫、パナナ
5 平井大、Mrs.GREEN APPLE



Yoshimi Kataoka
片岡 良実
1 看護師
2 野球観戦
3 海鮮
4 牛乳
5 Official髭男dism、星野源



辞令交付式

今年度は医師7名、看護師18名、作業療法士1名、計26名の新しいスタッフを迎えました。職員を代表し、医師の土屋朱万理先生が理事長から辞令を受け取りました。また、宣誓は看護師の小野田直弥さんが行いました。かなり緊張されていましたが、しっかりとした口調で宣誓してくれました。



Dr.Ikuta Shinkawa
& Dr.Kazunori Bessho

HYOGO便り



現在、兵庫県西宮市でご活躍の新川郁太先生(医療法人社団新川医院 理事長・院長)、神戸市でご活躍の別所和典先生(元町こころのクリニック 院長)から近況報告が届きました。今回はお二人の同期である当センター・宋龍平先生にインタビューになってもらい、リモートでお二人の近況について伺いました。

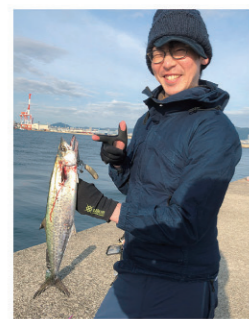


同期と訪れた宮古島にて

「当センター勤務時代を振り返っていかがでしたか?」
別所「とても充実してました。ここで学んだことが、全ての仕事に繋がっています。具体的には、一般精神はもちろんのこと、依存症、往診、岡山を離れてから学び専門医の資格を取った認知症、それら全てが軸となり、基本的に岡山でしていたことを今も続けている感じですね。ハードワークではありましたが、同僚と助け合いながら仕事をしていたら、体力的に厳しいという気持ちより、得るものの方が多かったんです」
新川「とにかく忙しかったですね。大変でしたが、その分他の同期の医師とも共有した時間が長かったので、仕事のこと、それ以外のことも情報交換で

き、非常に楽しかった思い出があります。臨床の面では、他では経験できないような幅広い疾患を診させてもらいました。また、地域という場でも様々な機関と連絡調整し、患者さんを支えたり、病気を回復させるのにコミュニケーションが肝となるのですが、ここで患者さんの退院後の生活のことも多職種と一緒に考え、退院促進に取り組めたのは、大きな財産になっていると実感しています」
——岡山で過ごして印象に残った事は?——
新川「同期のみんなで湯郷温泉に行ったことです。先輩方が当直を代わってくださり、そのおかげで忘れられない思い出ができました。他にも、大人の発達外来を担当させてもらったのは、今クリニックで診療する際にとっても役立っていると感じます。本当に良い勉強になるので、若い医師も積極的に参加した方が良いと思います」
別所「日直の日、休憩中に来院院長と雑談で「今日娘の予定日なんです」と話したら、院長が「すぐに行かないと!!日直は誰かが代わりにするから」と声をかけて下さり、一生に一度しか無い、娘の誕生の瞬間に立ち会えたこと。これは今でも鮮明に覚えています。来院院長と日

直を代わってくださった先生にはとても感謝しています。ここは非常に人情味溢れた病院だと思います」
——兵庫で好きな場所は?——
別所「メリケンパークは海が一望で魅力溢れるスポットで、家族がよく訪れます。2017年にリニューアルが行われ、さらに施設が充実していますよ」
新川「リーグのウィッセル神戸のファンでノエビアスタジアムにはよく観戦に行きます。インエスタ選手の加入で世界最高峰のプレースタイルと技術を見られるので、より一層ワクワク感が高まりました」
——現在のクリニックで働いて感じることは?——
新川「当クリニックでも訪問看護ステーションを設立準備中で、鹿田丸訪問看護ステーション立ち上げに携わったスタッフから、色々と情報ももらって助かっています。諸事情で中々クリニックに行けず、必要な医療を受けられない人がたくさんいるという現状を目の当たりにし、そういう人たちのサポートをしたいという想いで、訪問



趣味の釣り(新川)

看護ステーションを設立準備中です。地域で診療すること、保健師との繋がりが限られていたため、連携しやすい部分はありますね。訪問看護が連携の主体になることもあります。当クリニックではコメディカルが患者さんの支援を主体的に進めていけるよう、コメディカルが活躍できるようにクリニックを目指しています」
別所「小規模なクリニックなので、自分で何でもしなければならぬのは大変です。ただ、経営学部出身ということもあり、医師として臨床をしながら経営学の知識を生かしてクリニックをマネジメントしていく楽しさがあります。いくつになっても、新しいことに挑戦する人間でありたいですね」



リモートの様子(上から)新川先生、別所先生、宋先生



令和4年3月7日、入職1年目の新人職員とプリセプターが集まり、1年間の振り返りの会を開催しました。新人からそれぞれのプリセプターに感謝の気持ちや伝えられました。多くの新人が途中声を詰まらせたり、涙を流したり、本当にこの1年間に多くの困難や辛い出来事をプリセプターと一緒に乗り越えてきたことが感じられ胸が熱くなりました。そして、プリセプターからの温かいメッセージや、各部署の先輩方からの寄せ書きに、再び涙を流したり、照れたり、喜んでいました。



気持ち、先輩となる自覚を得ることができたようです。コロナ禍で同期や先輩との仕事以外での関わりも制限され、横や縦の繋がりが希薄となる中で、本当に心細かったと思います。そんな状況でも新人をここまで支え、育ててくれたプリセプターをはじめとするスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。希望を抱いて巣立っていった新人たちが、これからも元気に羽ばたき続けられるよう引き続き見守っていききたいと思います。(教育委員会・矢津のり子)

永年勤続表彰



永年勤続表彰とは、勤続25年の職員に対して、労いや感謝の気持ちを込めて行われる表彰です。この度表彰されたのは、看護師の越智貴史さん。25年間の内、中3(依存症・一般)入院棟に21年間勤務という依存症のプロフェッショナルです。来住由樹院長より、記念品が贈呈されました。これからもどうぞよろしく願っています。

看護部

事例研究発表会

令和4年1月29日(土)、サントホールにて「令和3年度 事例研究発表会」が開催されました。今年はコロナ禍の開催ということで、会場とオンラインのハイブリットでの発表会となりました。

事例研究は、入職2年目の看護師が約半年かけて自身の看護の関わりを振り返り、実践としてまとめて論文にします。1年目に受け持った患者さんとの関わりを思い出しながら、自分を振り返り自分と向き合う機会にもなります。各病棟の研修指導者がついてくれますが、日々の業務をしながら事例研究をまとめることは、簡単な事ではありません。提出期限や研究の

ルールを守ることは社会人としてのマナーやスキルも同時に学ぶ経験になります。

今年は14名の2年生看護師が事例をまとめ発表されました。テーマやキーワードが多かったのが、「個性のある看護」や「ストレングスモデル」でした。看護師としてまだ自信がないながらも、一人ひとりの患者さんと向き合い、一生懸命に関わってきた姿が見えてくるような事例が多かったように思います。

看護師になって初めて担当した患者さんへの看護や、1年目に経験し、感じたことは、今後の自身の看護観に大きく影響します。今後、自身の看護の根幹となる関わりや気づきがそれぞれの事例に溢れていましたね。1年前に入職式を迎えた場所と



同じ場所で、堂々と自身の看護を発表する姿は、2年間の確かな成長の証であり、今後、当センターの看護を担う若い世代として、益々輝いてほしいと思います。(看護研究委員会・中井志穂)



INTERVIEW 相談支援センター鹿田 精神科認定看護師/相談支援専門員・中井志穂

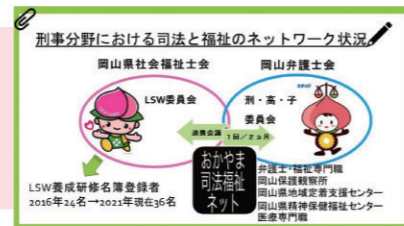
ほんわか温かく、
じわじわ心に効いてくる。
それが「人薬」。

地域連携室だより

刑事分野における司法と医療福祉を繋ぐ「岡山モデル」のご案内

「岡山モデル」とは……

社会福祉士が弁護士と協働し、刑事事件を起こし罪に問われた障害者・高齢者や少年を支援する仕組みです。



障 害者・高齢者の起こしている犯罪は、窃盗や暴力・傷害が大半を占めています。また、薬物自己使用、アルコール依存、ギャンブル依存、病的窃盗など、依存症の問題が背景にある場合にも多く遭遇します。

罪に問われた障害者・高齢者等の生活歴を紐解くと、障害の影響による困難さ・生活困窮・虐待・いじめ・搾取など被害的な経験によって「生きづらさ」を抱えている方がとても多く存在していることを実感します。

本来必要な福祉や精神科医療が届かないことによって、引き起こされた行動の結果である「罪」を犯した方に、ソーシャルワーカーが関わることが、その方の「生きづらさ」を解消し、共生社会の一員として再出発ができるように支援する、それが「岡山モデル」の目指す社会です。

(岡山パブリック法律事務所・伊藤清郁)



司法・福祉連携「岡山モデル」協定調印式の様子

Topics

当センターは、矯正施設出所後の方を受け入れることが多く、司法関係者とのような連携を行えば、より良い支援ができるのか、現場の肌感覚を大切にしながら理想的な連携の形を探るため、センター内で勉強会を実施しました。



今年度も地域連携室が地域の情報をお届けします



詳細は地域連携室までお問い合わせください



地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター

■ 連携室直通 / tel.086-225-3833 (9:00~16:30) ■ 住所 / 〒700-0915 岡山県岡山市北区鹿田本町3-16
■ 代表 / tel.086-225-3821 (24時間対応) ■ fax.086-225-3855

大切な人として接すること
接してもらうこと

「人薬(ひとぐすり)」。私がこの言葉を初めて聞いてからもう10年以上たちました。当時、勤務していた病棟の師長(今の看護部長です)が、ことあるごとに「人薬を大切に」とおっしゃっていました。自分が大事にしていた目に見えないモノに、ようやく名前がつけられたように感じ、自身の看護の指針となり力が湧いてくるような気持ちになったことをよく覚えています。あれから10年たち、私の中の「人薬」は少し変化したように思います。

当時「人薬」は医療者側が提供するものというイメージでした。「薬」という言葉に引っ張られていたのでしょうか。でも、今は誰でも「人薬」になれることがわかりました。私の中の「人薬」は、「大切な人として接すること、接してもらうこと」。そこには「誠意」「敬意」「安心」が必ず中心に存在している。これは誰かにもらう時も、渡す時もです。「人薬」は目に見えませんが、でも、「ほんわか温かく、じわじわと心に効いてくる、元気が出てくる」。そんなイメージです。そして、この数年で不思議なことにも気がつきました。「人薬」は、自分が誰かにもらい元気になる、次は他の誰かに渡したくなるのです。自分

が「人薬」のおかげで元気になった感謝や恩返しのようなものなのかもしれません。これは私の体験でもありません。

わかった気にならず
理解しようとし続ける

私は病棟での看護師としての経験を経て、今は相談支援センター鹿田で、相談支援専門員として、患者さんの退院支援や、地域で暮らす方の支援をしています。入院中は、毎日の治療や共同生活のルールを守って生活することになりますが、自宅ではその方自身がルールになります。当たり前ですが、ですからいろいろな生活スタイル、いろいろな価値観の方と関わります。時にはこれまで経験したことがない、想像もしたことのないような状況を目の当たりにすることもあります。自分の世間の狭さを知るとともに、いろんな考え方や生き方があってよいと多様性を学ぶ機会になっていきます。相手のルール・価値観を尊重しながら、その方が「その方らしくあること」を目標に関わらせていただいています。

私たちは、専門職として知識を得て経験を重ねていくと、つい、ある程度の情報でその人のこと(患者さんのこと)を「わかった気になってしまふ」ことがあります。経験の弊害とも言えますが、意識をしておかない



と、間違った関わりや支援につながる可能性もあります。その方がどう感じ、どう理解しているかは、その方にしかわかりません。例えば「いつかは働きたい」という言葉は同じでも、働くという意味や目的、価値は一人ひとり同じではなく、そう思う背景もそれぞれ違います。相手を知ること、理解しようとする関わりを惜しまずに続けていくことも「人薬」だと思っています。

私は「人薬」という言葉が好きです。どんな状況からも前進できる、ほんわか楽になる、味方がいる、そんな言葉の力があります。10年前、初めて聞いた時からずっと私を導き、支えてくれている言葉です。これからは、「人薬」を大切に自分の自分

EVENT REPORT



東古松サント診療所 春の訪れを感じられる イベントを開催しました

デイケア

コロナ感染拡大の第6波のため、活動自粛もありましたが、工夫しながらデイケア運営を行いました。

例年行っている「サント祭」も、密を避け1週間で実施しました。1年間で頑張ってきたことを表彰したり、編み物や刺し子などの作品展示、スタッフ写真での間違い探しやイントロクイズ、ハンドベル演奏などを行い、みんなで楽しむことができました。



サント祭での間違い探し。みなさんも間違いに気づきますか？



1年間で出来た作品の数々



暖かい春の日差しの中、桜を楽しむことができました



手と心が癒されます

た。一気に春らしくなり、3月30日(水)には桜も咲いたので、近所の五軒屋公園に花見に行きました。桜の花の下で、利用者さんと「春の一句」を考えました。その時に、利用者の方が好きな良寛和尚の一句「散る桜 残る桜も 散る桜」を紹介してもらいました。

昨年秋に行った「サントフリーマーケット」を、令和4年5月7日(土)13時15時に当診療所の庭で行う予定です。就労継続支援事業所、利用者の作品、日用品などの出店がありますので、ぜひ足を運んで頂けたら、嬉しいです。



岡山県精神科医療センター 個性あふれる作品が盛りだくさん!!

デイケア

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とは言いますが、デイケアでもあつという間に時が過ぎ去ってしまいました。

新年早々、2年ぶりの初詣に出かけました。病院から徒歩圏内にある石門別神社という小さな神社で、風情がありおススメです。

1月は「書初め」「マスクケース作り」の豪華2本立て。書初めは、センスが光った個性豊かな作品ばかりで、中でも新年の抱負には力強さがありました。マスクケース作りの材料は、高田織物さんの「畳縁」。柄がとてもユニークで「鬼滅の刃」「大手まんじゅう」などのコラボ商品は好きな柄を2種類工程は好きな柄を2種類



いろんな柄の量産。出来上がったマスクケースも素敵でしょう！



さーて、どの的を狙おうかな～



TOP3の方にスタッフから表彰状を渡しました

景品のお守り消しゴム

選び両面テープで留めるだけ。皆さんオリジナリティ溢れる作品ができました。2月は「節分レク」。日頃のストレスを鬼にぶつけてみよう！という思いの元、みんなで鬼やスタッフのイラストを描き、的を作り、ボールをぶつけ、点数を競いました。作る楽しさと競う楽しさがありとても盛り上がりました。

3月は恒例の「川柳大会」。117首の中から優秀作品を選び表彰しました。皆さんは外来の会計横にあるデイケアブースをご存じですか？季節感溢れる装飾を毎月メンバーと一緒に考えています。4月は川柳大会の作品を展示する予定です。乞うご期待ください！

編集後記

薫風さわやかな季節になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。新年度が始まり、当センターも新しいスタッフを迎えることができました。

新入職員の方々はとても緊張した様子で研修を受けていましたが、「自分もあのような感じだったかな？」などと振り返り、私も気持ちを新たに頑張ろうと思います。職員一同、一緒に働くことにワクワクしています。中島理事長がいつも伝えてくださる「どんなに仕事が大変だろうと、患者さんの笑顔を忘れない」という言葉。常に胸に刻んで日々過ごしたいと思います。

それでは、広報誌「Jupiter」春号をお届けします。本年度もご愛読の程、よろしくお願いたします。

(事務部・志茂香代子)



旬のイチゴを使って、中2入院棟の子どもたちが喜んでくれそうなフルーツサンドを作りました。見た目もきれいで、生クリームと甘酸っぱいイチゴ、キウイとの相性はバツグン！みんな完食していました。

Jupiter

2022年
春号
VOL.46

2022年4月28日発行

発行人 中島豊爾
編集人 来住由樹
発行所 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター
岡山市北区鹿田本町3-16
TEL.086-225-3821(代)
ホームページ <https://www.popmc.jp>
制作協力 ㈱あどりえ、ぼう
印刷所 友野印刷㈱